

取扱いの趣旨

狭心症は心筋壊死を伴っていないことから、狭心症に対する心筋マーカー検査の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和7年2月28日》

443 ECG12がある場合の心筋マーカー検査（急性心筋梗塞疑い等）の算定について

○ 取扱い

- ① ECG12がある場合の急性心筋梗塞疑いに対するD007「17」CKアイソザイムの算定は、原則として認められる。
- ② ECG12がある場合の不安定狭心症（疑い含む。）に対する次の心筋マーカー検査の算定は、原則として認められる。
 - (1) D007「17」CKアイソザイム
 - (2) D007「22」CK-MB（蛋白量測定）
 - (3) D007「29」心筋トロポニンI
 - (4) D007「29」心筋トロポニンT（TnT）定性・定量
 - (5) D007「36」心臓由来脂肪酸結合蛋白（H-FABP）定性
 - (6) D007「36」心臓由来脂肪酸結合蛋白（H-FABP）定量
- ③ ECG12がある場合の狭心症（疑い含む。）に対する次の心筋マーカー検査の算定は、原則として認められない。
 - (1) D007「17」CKアイソザイム
 - (2) D007「22」CK-MB（蛋白量測定）
 - (3) D007「29」心筋トロポニンI
 - (4) D007「29」心筋トロポニンT（TnT）定性・定量
 - (5) D007「36」心臓由来脂肪酸結合蛋白（H-FABP）定性
 - (6) D007「36」心臓由来脂肪酸結合蛋白（H-FABP）定量

○ 取扱いを作成した根拠等

急性心筋梗塞疑いは、心筋虚血により心筋細胞が壊死した状態を疑うものであり、不安定狭心症は、有意な心筋壊死にまで至っていない状態であるものの、冠動脈プラークの破綻とそれに伴う血栓形成によって冠動脈内腔が急速に狭窄、閉塞し、心筋が虚血、壊死に陥る病態を示すという点で急性心筋梗塞と共通の病態（急性冠症候群）である。急性心筋梗塞や不安定狭心症の診断には、胸痛などの臨床症状、心電図変化にくわえて、心筋逸脱酵素の上昇の確認が必須であり、まず、非侵襲的で簡便かつ迅速に行うことのできる心電図検査を実施し、同時に心筋マーカーの検査を進めるのが通例である。一方、狭心症（疑い含む。）は心筋壊死を伴っていないことから、心筋マーカーの算定は意味がない。

上記の心筋マーカーは、心筋細胞の壊死により産生される各種の特徴的な物質を測定することで、心筋壊死の状態を調べる検査であり、心筋壊死が急速に進行する急性心筋梗塞の診断に有用である。

以上のことから、ECG12がある場合の急性心筋梗塞疑いに対するD007「17」CKアイソザイムの算定、不安定狭心症（疑い含む。）に対する②の心筋マーカーの算定は、原則として認められると判断した。

また、狭心症（疑い含む。）に対する③の心筋マーカー検査の算定は、原則として認められないと判断した。

なお、上記取扱いは、記載した検査それぞれの取扱いであり、併算定の適否に係るものではない。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	群馬、高知、徳島、島根	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	群馬	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	徳島、高知、群馬、島根	//

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、冠攣縮を伴う狭心症であり、発作時の虚血による心筋逸脱酵素の上昇の確認は、重篤な状態の把握に有用であることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

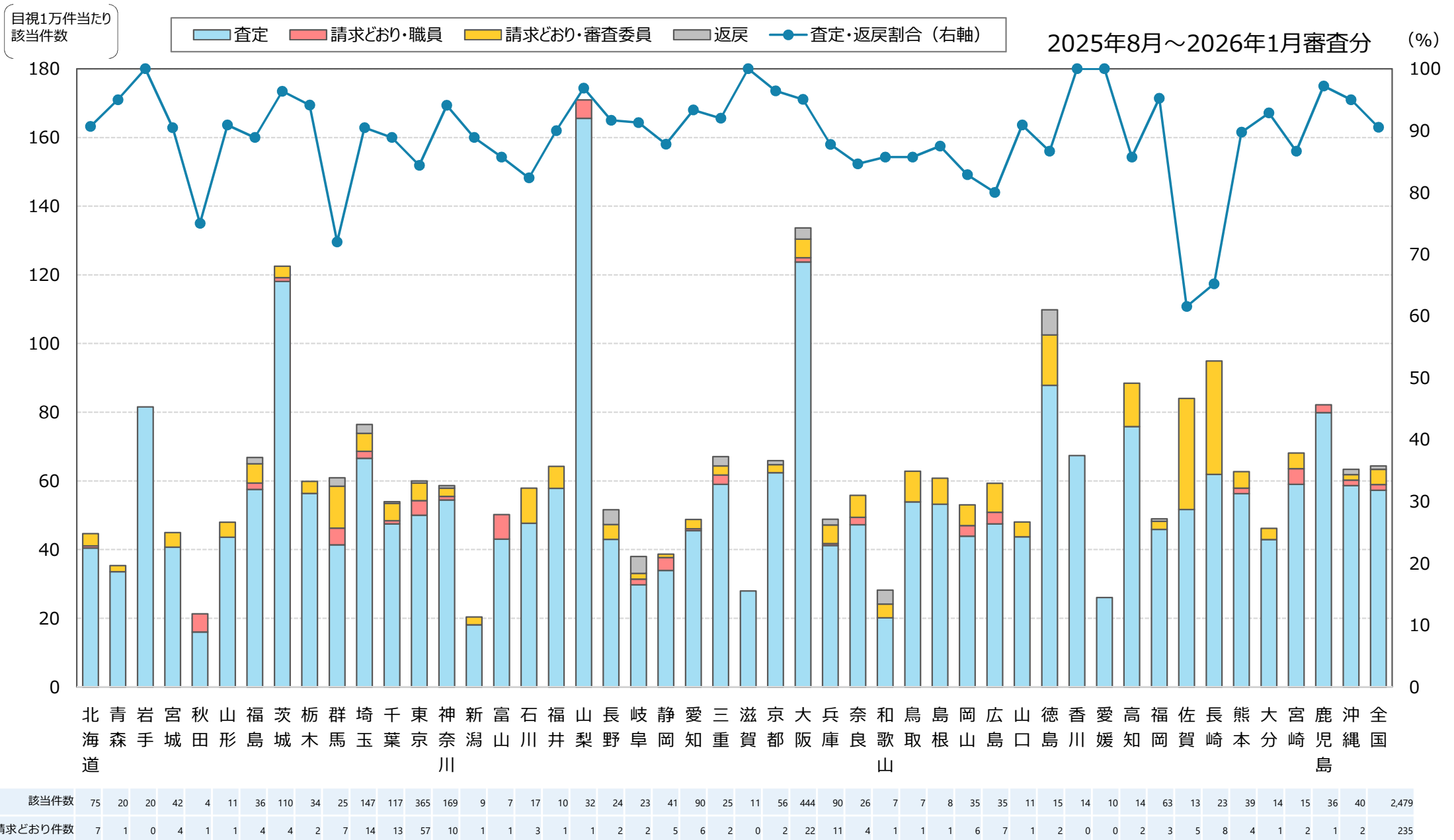
2025年8月～2026年1月審査分

検証の結果、該当件数2,479件のうち、**取扱いと異なる審査は54件（2.18%）**
検証対象19都道府県のうち、**フォローアップ対象は4都道府県**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計					
		計										
01	北海道	75										
02	青森	20										
03	岩手	20										
04	宮城	42										
05	秋田	4										
06	山形	11										
07	福島	36	33	91.67%	31	1	32	1	3	8.33%	1	2
08	茨城	110										
09	栃木	34										
10	群馬	25	19	76.00%	17	1	18	1	6	24.00%	2	4
11	埼玉	147										
12	千葉	117	111	94.87%	103	1	104	7	6	5.13%	2	4
13	東京	365	349	95.62%	304	4	308	41	16	4.38%	10	6
14	神奈川	169										
15	新潟	9										
16	富山	7										
17	石川	17	17	100.00%	14	0	14	3	0	0.00%	0	0
18	福井	10	10	100.00%	9	0	9	1	0	0.00%	0	0
19	山梨	32										
20	長野	24										
21	岐阜	23										
22	静岡	41	39	95.12%	36	0	36	3	2	4.88%	2	0
23	愛知	90										
24	三重	25										

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計					
		計										
25	滋賀	11										
26	京都	56										
27	大阪	444										
28	兵庫	90	85	94.44%	76	3	79	6	5	5.56%	1	4
29	奈良	26	24	92.31%	22	0	22	2	2	7.69%	1	1
30	和歌山	7										
31	鳥取	7	7	100.00%	6	0	6	1	0	0.00%	0	0
32	島根	8	7	87.50%	7	0	7	0	1	12.50%	0	1
33	岡山	35	32	91.43%	29	0	29	3	3	8.57%	0	3
34	広島	35	33	94.29%	28	0	28	5	2	5.71%	0	2
35	山口	11										
36	徳島	15	13	86.67%	12	1	13	0	2	13.33%	0	2
37	香川	14										
38	愛媛	10										
39	高知	14	12	85.71%	12	0	12	0	2	14.29%	0	2
40	福岡	63										
41	佐賀	13	12	92.31%	8	0	8	4	1	7.69%	0	1
42	長崎	23	23	100.00%	15	0	15	8	0	0.00%	0	0
43	熊本	39	37	94.87%	35	0	35	2	2	5.13%	1	1
44	大分	14										
45	宮崎	15	14	93.33%	13	0	13	1	1	6.67%	0	1
46	鹿児島	36										
47	沖縄	40										
全国		2,479							54	2.18%	20	34

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数